

自然言語の重み付投票ネットワークを獲得していくことを考えてみました。例えば、

（文1）バスで買い物に行く。

（文2）車で買い物に行く。

（文3）バスで病院に行く。

というような文から、**favorite**、**hateful** の弁別のネットワークを作るとします。

（1）文1は **favorite** でしょう。文全体は次のようにコマンドに分解できますから、その各要素も **favorite** の可能性があります。

（行く,with_case,バス,aim_case、買い物）

「行く」も、「with_case,バス」も、「aim_case、買い物」も **favorite** ノードに連想します。

（2）文2は **favorite** でしょう。文全体は次のようにコマンドに分解できますから、その各要素も **favorite** の可能性があります。

（行く,with_case,車,aim_case、買い物）

「行く」も、「with_case,車」も、「aim_case、買い物」も **favorite** ノードに連想します。

（3）文3は **hateful** でしょう。文全体は次のようにコマンドに分解できますから、その各要素も **hateful** の可能性があります。

（行く,with_case,バス,aim_case、病院）

「行く」も、「with_case,バス」も、「aim_case、病院」も **hateful** ノードに連想します。

Favorite と **hateful** とは反対の概念であり、それへの連想は排他的であるべきです。そこで、「行く」と「with_case,バス」が同時に反対の概念に連想していますから、これらの連想は相殺して、無しとします。同様に、何時か、「with,車」も連想が無しとなるでしょう。すると、**favorite** は「aim_case,買い物」で、**hateful** は「aim_case,病院」という局限された連想のみが残るでしょう。そんな風にして、機械学習を実現していきます。

それと、図形などの機械学習では、投票の強さが次式で与えられるような問題が発生します。

$A/\exp(B*|x-x_0|)$ A,B,x_0 はパラメータ。

（1） A は連想が発生した件数で良いでしょう。

（2） B が入力図形の一致度に対応するパラメータで、初めはデフォルト値を持っていて、 $B*|x-x_0|$ 値よりも大きい所で事象が発生したら、 B の値を小さくし、その反対ならば B 値を大きくしていくとして良いでしょう。 x_0 は x 値の中心値として、計算

して管理していきます。

おわり